がんばろう！東北

お知らせ

平成24年 3月12日
東北地方整備局

東日本大震災発生後１年の交通状況について

復興道路に位置付けられている三陸道および復興支援道路に位置付けられている　国道106号、国道283号、国道115号においては、依然として震災前を上回る水準で推移しており、被災地への主要な移動経路となっています。

東日本大震災発生１年での、東北管内の主要道路の交通量変化の特徴は以下のとおりとなっています。

【特　徴】

◆代表断面（新潟・関東境、県境等）の交通状況について
〇東北と新潟・関東境での断面交通量は、東北道・磐越道の通行規制が解除以降、増加傾向となり、H22年度を上回る水準で推移しています。【Ｐ．１】
〇断面別では、特に「福島県－茨城県断面」で継続的にH22年度交通量を上回っています。【Ｐ．２】
〇平休日別では、平日交通量は昨年より増加傾向にあるものの、休日交通量は12～1月を除いてH22年度比を下回る水準となっています。【Ｐ．３】

◆東日本大震災以降のくしの歯路線（横断軸）の交通状況について
〇内陸から被災地への支援ルートとなった「くしの歯路線」においては、特に、復興支援道路の国道106号・国道283号・国道115号で直近の2月（冬期）にもかかわらず、震災前を約２割上回っています。【Ｐ．４】
〇その他、特に国道398号では震災前の約３倍と伸びが顕著となっています。【Ｐ．４】

◆三陸道の交通状況について
〇仙台市から宮古市まで太平洋沿岸を結ぶ三陸道では、9月以降も昨年を大幅に上回る水準で推移しております。特に、宮城県の石巻市以南（仙台市～石巻市間）では、直近の2月でも約１割増となっており、継続的に増加率が高くなっています。【Ｐ．５】

（掲載箇所）
東北地方整備局ＨＰトップページ（http://www.thr.mlit.go.jp/）
→東日本大震災関連情報バナー
→記者発表

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

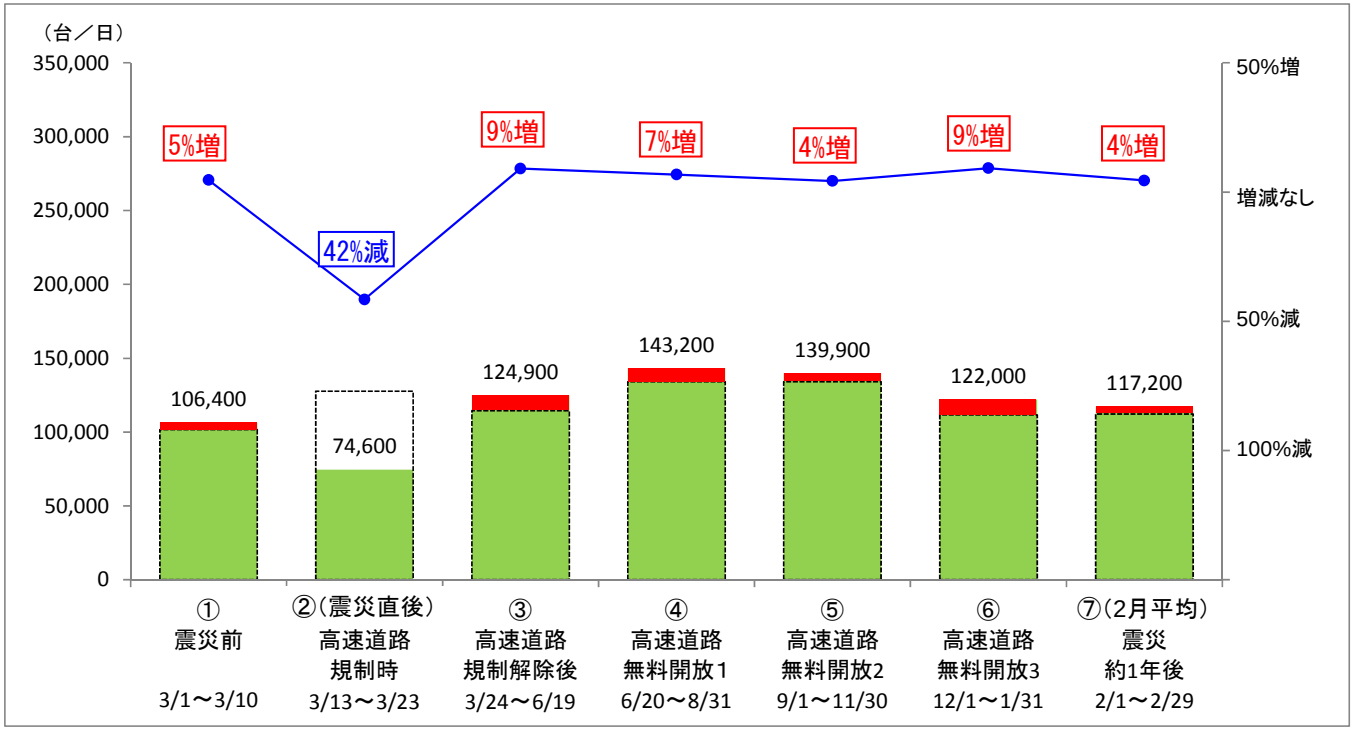
問い合わせ先　国土交通省東北地方整備局　TEL　022-225-2171（代表）
道路部　道路計画第二課　課　長　舟山（ふなやま）　和重（かずしげ）（内4251）

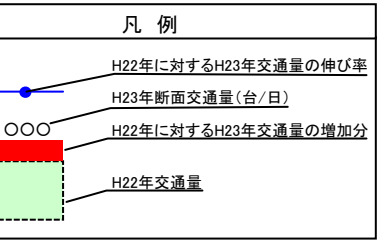
東日本大震災による交通量の変化（震災発生から約１年までの状況）

◆東北と新潟・関東境の断面交通量（全車）

○東北と新潟・関東境の断面交通量は、震災直後H22年度比で約４割減と大きく落ち込んだが、高速道路の規制解除後にはH22年度比を上回る水準で推移。
○直近の２月においてもH22年度比で4%増となっている。

▼震災発生から2月末（震災約1後）までの東北と新潟・関東境の断面交通量推移（全車）







【観測地点名】

No	路線名	箇所名	備考
1	国道4号	白河	栃木県境付近
2	国道6号	勿来	茨城県境付近
3	国道7号	府屋（北陸）	新潟県境付近
4	国道49号	天満（北陸）	新潟県境付近
5	国道113号	小国	新潟県境付近
6	東北道	矢板－西那須野	栃木県境付近
7	常磐道	日立中央－日立北	茨城県境付近
8	磐越道	津川－三川	新潟県境付近

①震災前（3/1～3/10）：3/11東日本大震災発生前の期間
②高速道路規制時（3/13～3/23）：緊急車両のみが高速道路を利用できた期間
③高速道路規制解除後（3/24～4/27、5/9～6/19）：高速道路で一般車の通行が可能になった期間（但しGW期間を除く）
④高速道路無料開放1（6/20～8/9、8/17～8/31）：高速道路無料開放（全車種対象）中の期間（但し、お盆期間を除く）
⑤高速道路無料開放2（9/1～11/30）：高速道路無料開放（トラック・バス除く）中の期間
⑥高速道路無料開放3（12/1～12/28、1/4～1/31）：高速道路無料開放（太平洋側無料（全車種））中の期間（但し、年末年始期間を除く）
⑦震災約１年後（2/1～2/29）：２月平均

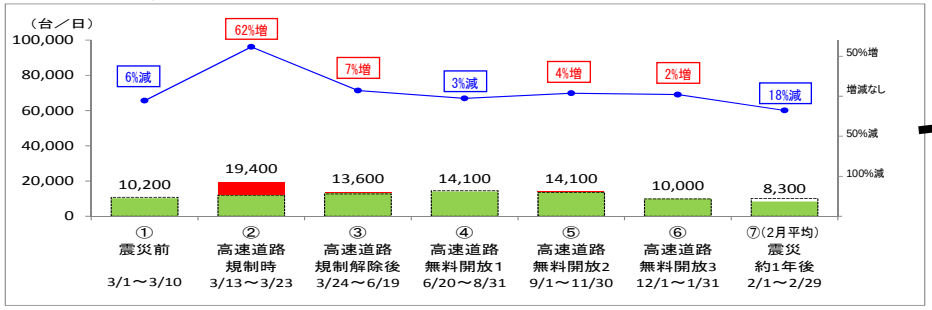
東日本大震災による交通量の変化（震災発生から約１年までの状況）

◆東北と新潟・関東境の断面交通量（断面別内訳（全車））

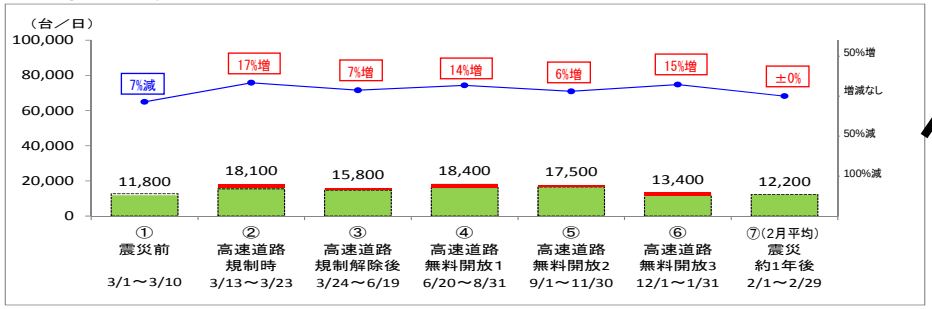
○震災直後に太平洋側で大きく減少（H22年度比で約6割減)した交通量は、日本海側道路網が代替機能を発揮（H22年度比で約6割増）。

○特に、福島県−茨城県断面では直近の２月でも15%増となっており、継続的にH22年度交通量を上回っている。

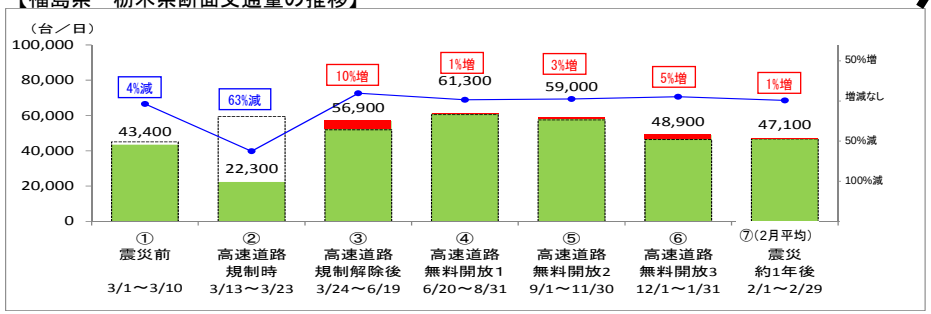
【山形県－新潟県断面交通量の推移】

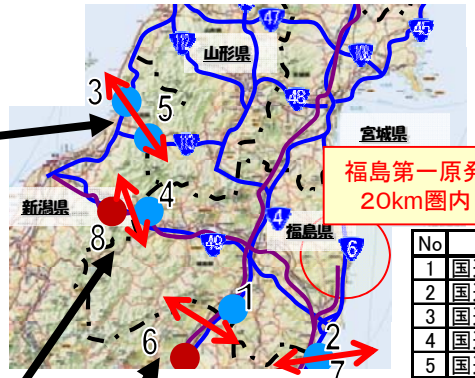


【福島県－新潟県断面交通量の推移】



【福島県－栃木県断面交通量の推移】



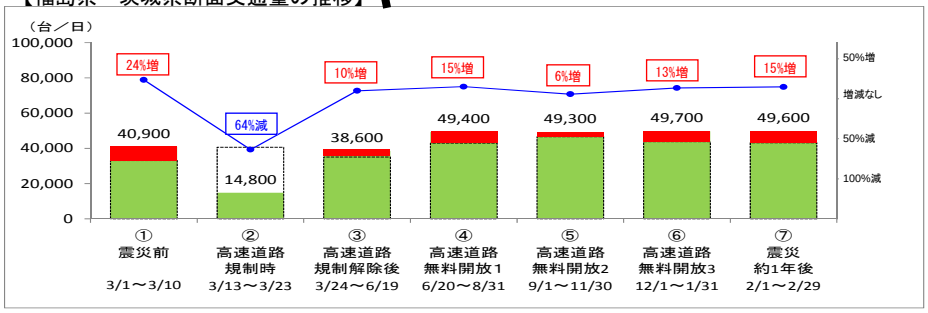


＜凡例＞
- 高速道路観測地点
- 一般道路観測地点

No	路線名	箇所名	備考
1	国道4号	白河	栃木県境付近
2	国道6号	勿来	茨城県境付近
3	国道7号	府屋（北陸）	新潟県境付近
4	国道49号	天満（北陸）	新潟県境付近
5	国道113号	小国	新潟県境付近
6	東北道	矢板－西那須野	栃木県境付近
7	常磐道	日立中央－日立北	茨城県境付近
8	磐越道	津川－三川	新潟県境付近

①震災前（3/1～3/10） ： 3/11東日本大震災発生前の期間
②高速道路規制時（3/13～3/23） ： 緊急車両のみが高速道路を利用できた期間
③高速道路規制解除後（3/24～4/27、5/9～6/19） ： 高速道路で一般車の通行が可能になった期間（但し例期間を除く）
④高速道路無料開放1（6/20～8/9、8/17～8/31） ： 高速道路無料開放（全車種対象）中の期間（但し、お盆期間を除く）
⑤高速道路無料開放2（9/1～11/30） ： 高速道路無料開放（トラック・バス除く）中の期間
⑥高速道路無料開放3（12/1～12/28、1/4～1/31） ： 高速道路無料開放（大平洋側無料（全車種））中の期間（但し、年末年始期間を除く）
⑦震災約１年後（2/1～2/29） ： ２月平均

【福島県－茨城県断面交通量の推移】



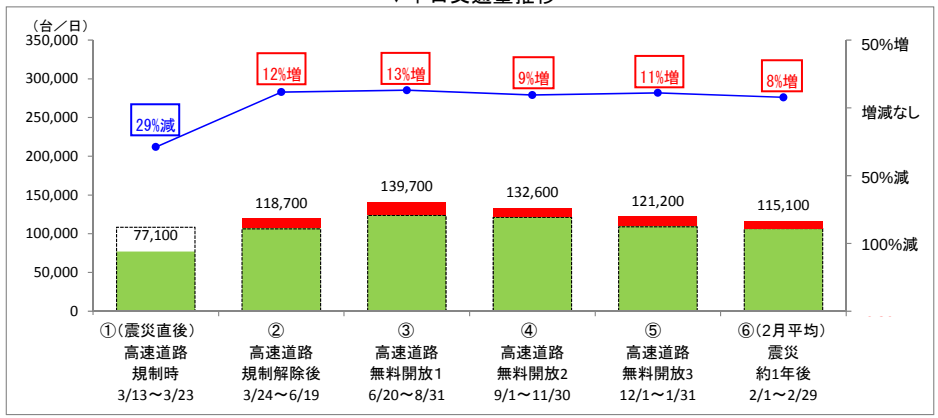
東日本大震災による交通量の変化（震災発生から約１年までの状況）

◆東北と新潟･関東境の断面交通量（平休別）（全車）

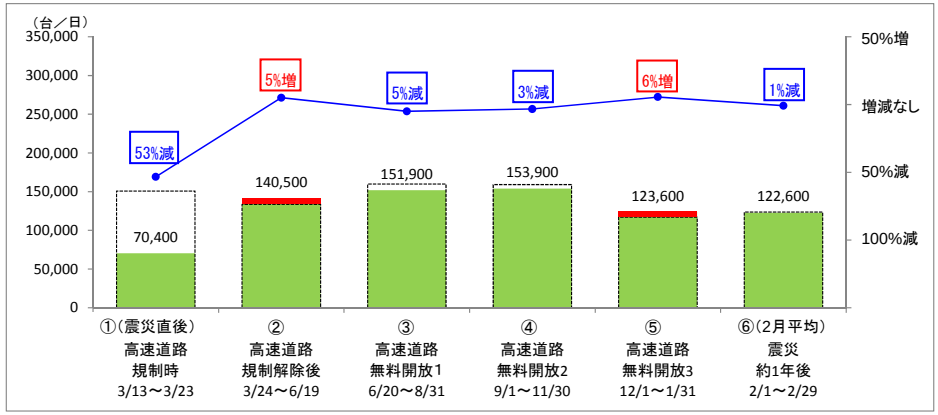
○平日交通量は、震災直後の落ち込みから、高速道路規制解除後には回復し、直近の2月においてもH22年度交通量を8%上回っている。

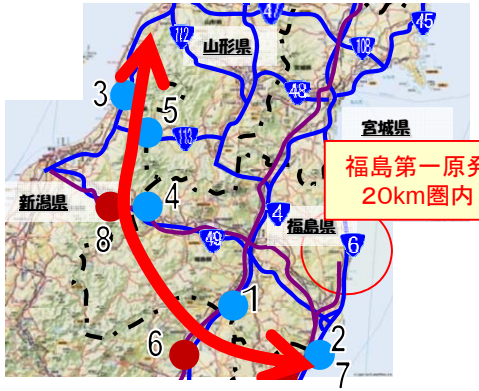
○休日交通量は、６月の高速道路無料開放以降、１２月～１月を除きH22年度交通量を下回る水準となっている。

▼平日交通量推移



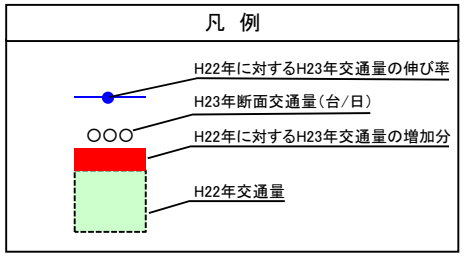
▼休日交通量推移





【観測地点名】

No	路線名	箇所名	備考
1	国道4号	白河	栃木県境付近
2	国道6号	勿来	茨城県境付近
3	国道7号	府屋（北陸）	新潟県境付近
4	国道49号	天満（北陸）	新潟県境付近
5	国道113号	小国	新潟県境付近
6	東北道	矢板－西那須野	栃木県境付近
7	常磐道	日立中央－日立北	茨城県境付近
8	磐越道	津川－三川	新潟県境付近

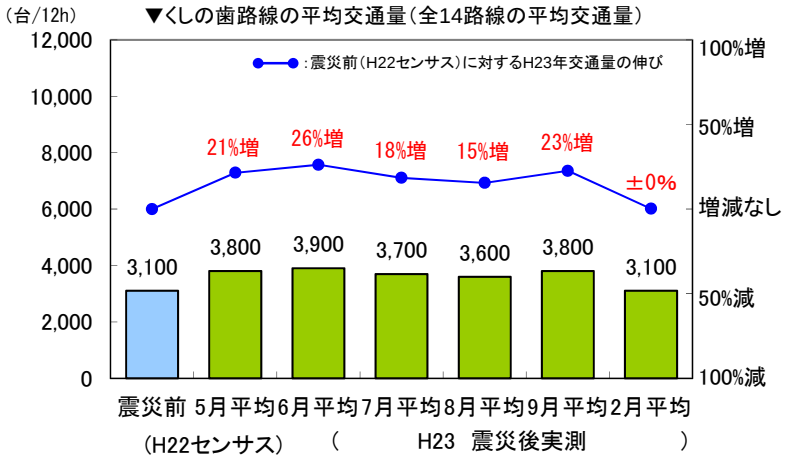


①高速道路規制時（3/13～3/23） ： 緊急車両のみが高速道路を利用できた期間
②高速道路規制解除後（3/24～4/27、5/9～6/19） ： 高速道路で一般車の通行が可能になった期間（但しGW期間を除く）
③高速道路無料開放1（6/20～8/9、8/17～8/31） ： 高速道路無料開放（全車種対象）中の期間（但し、お盆期間を除く）
④高速道路無料開放2（9/1～11/30） ： 高速道路無料開放（トラック・バス除く）中の期間
⑤高速道路無料開放3（12/1～12/28、1/4～1/31） ： 高速道路無料開放（太平洋側無料（全車種））中の期間（但し、年末年始期間を除く）
⑥震災約１年後（2/1～2/29） ： ２月平均

東日本大震災による交通量の変化（くしの歯路線）

○復興支援道路に位置付けられている国道106号（宮古～盛岡）、国道283号（釜石～花巻）、国道115号（相馬～福島）の平均交通量は、観測開始の5月以降から直近の2月まで震災前交通量を大きく上回っている。

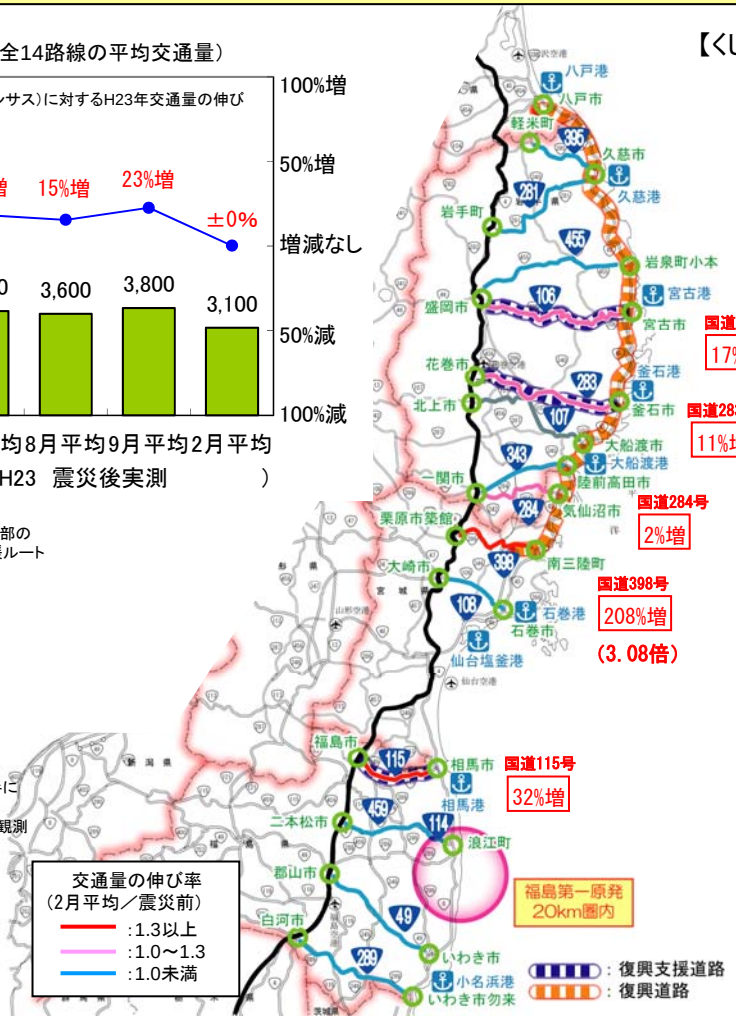
○復興支援道路を除くその他路線では、特に国道398号において震災前の約3倍の交通量となっている。



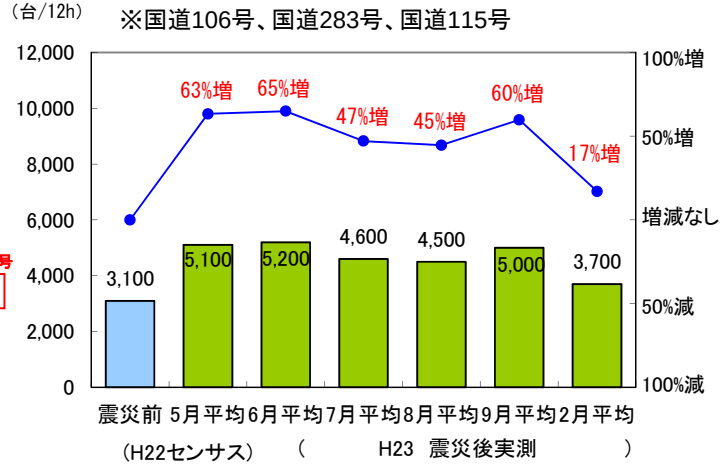
※くしの歯路線
東北道、国道4号から津波で大きな被害が発生した沿岸部の国道6号、国道45号への進出のための「くしの歯型」救援ルート

※調査日
震災前（H22道路交通センサス）
5月平均：H23年5月22、23、24日
6月平均：H23年6月24、25、26日
7月平均：H23年7月24、25、26日
8月平均：H23年8月28、29、30日
9月平均：H23年9月25、26、27日
2月平均：H24年2月12、13、14日

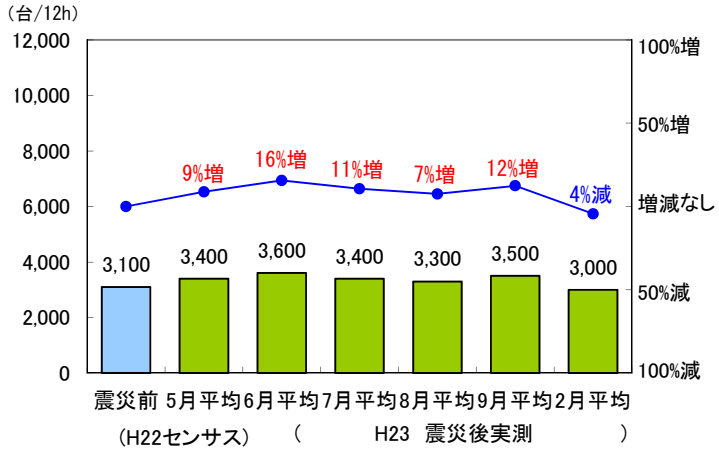
※調査方法
・震災前（平成22年秋季における交通量調べ）：主に人手による観測（一部、機械観測）
・5～2月平均：モバイルトラフィックカウンターによる機械観測



【くしの歯路線のうち復興支援道路に位置付けられている路線】



【くしの歯路線のその他路線】



東日本大震災による交通量の変化（三陸縦貫自動車道）

○平均交通量は、6月以降、H22年を上回る水準で推移し、**直近の2月においてもH22年度交通量より7%増加**している。

○**仙台市～石巻市間**においては、**直近の2月でも9%増**となっており、**継続的にH22年度交通量を大きく上回っている。**

